

グループ活動報告

企画運営Aグループ (パネル展担当)

私たち企画運営Aグループはパネル展を担当しました。年2回のパネル展では、市民の方々が見やすいようボードに番号を付け、順路を示しました。

内容も見直し、新しいパネルを作成するなど、様々な工夫をしました。



《リーダー》
酒井大介

《サブリーダー》
森みどり

《メンバー》
江里口智美／鎌田満／久保寺寿和子
土橋真太郎／深澤奈美／古屋美代

*** 「男女共同参画週間」 パネル展 ***

「男女共同参画週間」パネル展では新たに「第9期啓発活動～イベントへの出展～」として甲府大好きまつり・ぴゅあフェスティバルでの啓発活動の様子をパネルにしました。

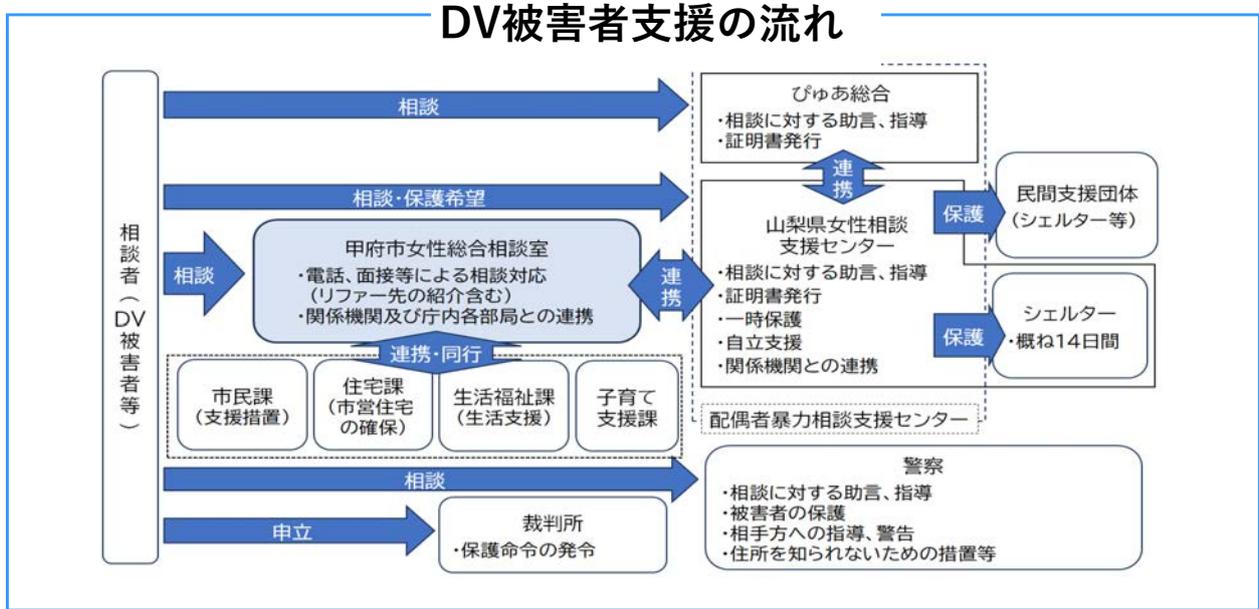


パネル展準備の様子

*** 「女性に対する暴力をなくす運動」 パネル展 ***

困難な問題を抱える女性への支援に関する法律と困難な問題を抱える女性への支援

「女性に対する暴力をなくす運動」期間でのパネル展では、新たに次のような「DV被害者支援の流れ」のパネルを作成しました。



山梨県男女共同参画センターびゅあ総合

《女性総合相談》 電話相談 午前9時～午後5時まで 055-237-7830 (相談専用電話)
 面接相談 午前9時～午後4時まで 休館日 (第2・4月曜日、年末年始) を除く毎日
 《男性総合相談》 電話相談 毎月第1日曜日 午後1時～午後5時 055-225-3067 (相談専用電話)

*** 「甲府市男女共同参画フォーラム2025」 パネル展 ***

「甲府市男女共同参画フォーラム2025」の開催日が国際女性デーであったことから、同時開催のパネル展で国際女性デーについてのパネルを作成し、国際女性デーのシンボルであるミモザの花を飾りました。

3月8日は国際女性デーです

ルーツは1904年3月8日、アメリカニューヨークの女性たちが労働条件の改善と婦人参政権を求めた抗議活動に由来するとされています。
 国連は、1975年(国際婦人年)3月8日を、女性の社会的、経済的、文化的、政治的な成果をたたえる日として「国際女性デー」と制定しました。

3月8日はミモザの日
 イタリアでは、女性に感謝を込めて、愛や幸福の象徴である「ミモザ」を送る日とされています。
 このことから、ミモザの花は国際女性デーのシンボルとされています。

2025年国際女性デーテーマ

すべての女性と少女のために：権利、平等、エンパワーメントを

今年のテーマは、すべての人に、そして、誰一人として取り残されることのないフェミニズムの未来のために、**平等な権利、力、機会**を与える行動を呼びかけるものです。
若者、特に若い女性や思春期の少女たちに力を与えることがこのビジョンの中心です。

3つの主要分野で行動を起こそう

- ① 女性と少女の権利の促進
- ② ジェンダー平等の推進
- ③ エンパワーメントの促進

国際女性デーについてもっと知りたい方は...
 「国連NPO IIA 国連ウイメン日本協会」
[ホームページはこちら](#)

甲府市の取り組み

イエロー・ライトアップ
 国際女性デーに合わせ、ミモザの花にちなんだイエロー・ライトアップを藤村記念館(甲府駅北口広場)で実施しています。
 日程：3月7日(金曜日)から3月17日(月曜日)まで
 時間：17時00分から21時00分まで

[甲府市ホームページはこちら](#)

グループ活動報告

企画運営Bグループ (甲府大好きまつり・フォーラム活動報告担当)

私たち企画運営Bグループは甲府大好きまつりでの啓発活動とフォーラムでの推進委員会活動報告を担当しています。甲府大好きまつりではクイズやアンケートを通して男女共同参画について知るきっかけになるような啓発活動を行いました。甲府市男女共同参画フォーラム2026では推進委員会の一年間の活動を発表しました。



《リーダー》
山田千恵美

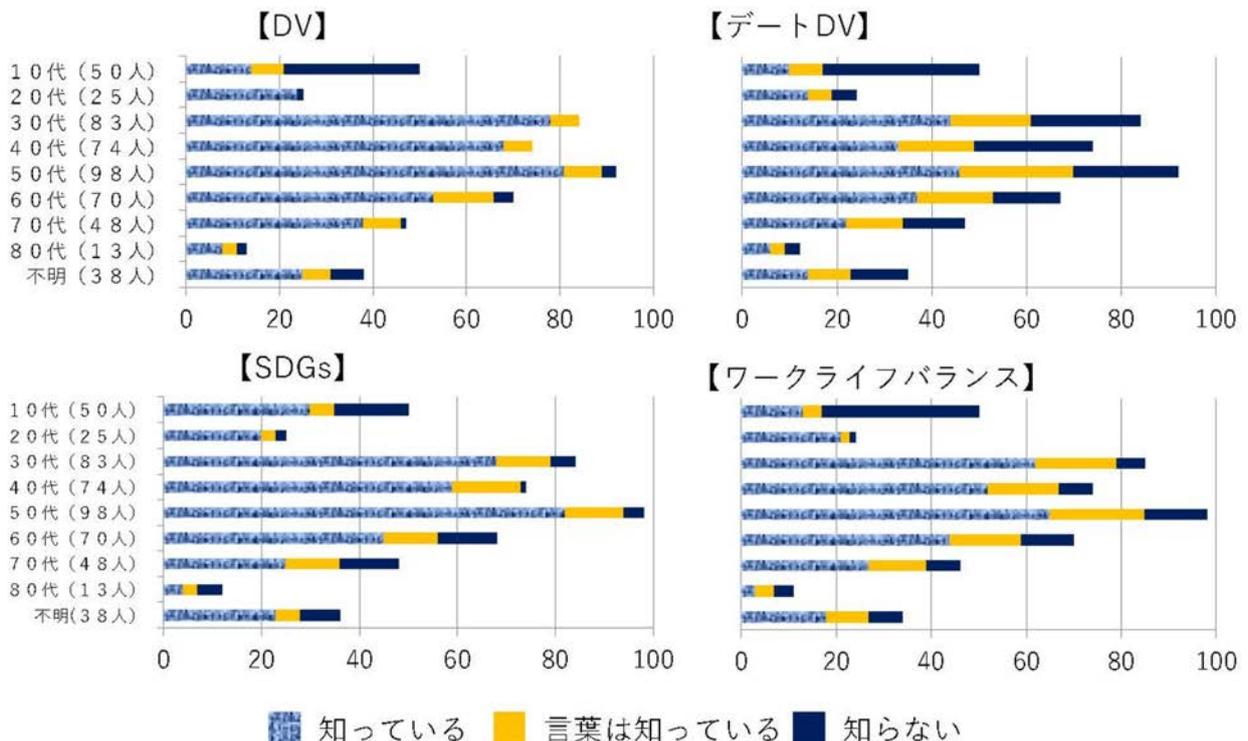
《サブリーダー》
小澤房子

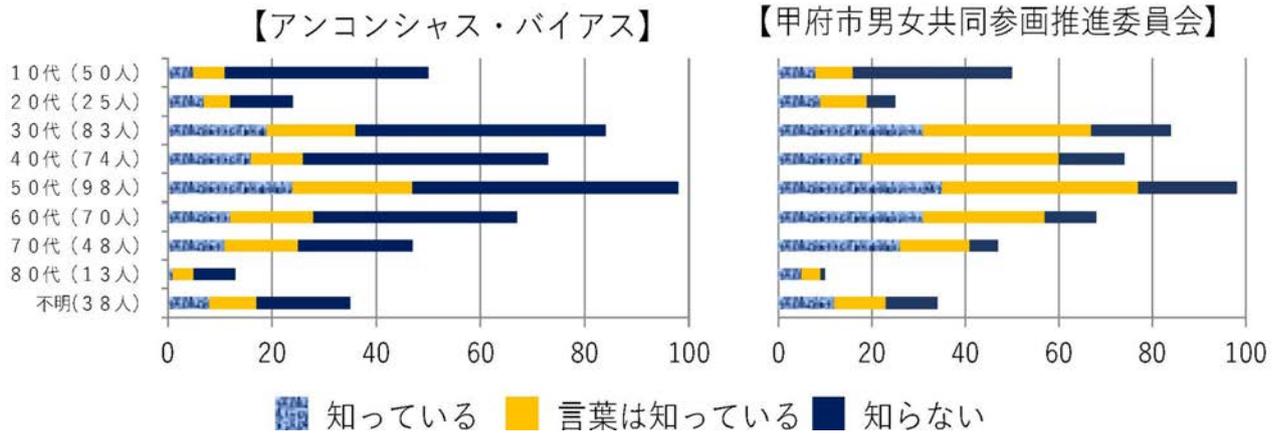
《メンバー》
井尻真理子／菊嶋慶彦／小林茂
清水正／内藤貴夫／平井三十鈴

*** 令和7年度「甲府大好きまつり」 ***

男女共同参画に関する言葉の認知度アンケート集計結果

令和7年度の甲府大好きまつりにおいて、参加者に下記の言葉についてどのくらい浸透しているかを計るためのアンケートを実施しました。





〈ご回答していただいた皆様に解説を配布しました〉



【解説】この言葉を知っていますか？

No.	問題	説明
1	DV (ドメスティック・バイオレンス)	配偶者やパートナー、恋人を含む親密な関係にある、またはあった者から振るわれるあらゆる形の暴力のこと。身体的な暴力だけでなく、精神的、性的、経済的、社会的な暴力も含まれる。
2	デートDV	恋人や交際相手などの親密な関係にある者(配偶者等を除く)の一方から他方に対して振るわれるあらゆる形の暴力のこと。身体的な暴力だけでなく、精神的、性的な暴力のほか、借りたお金を返さないなどの経済的暴力や、家族や友人との付き合いを制限するなどの社会的な暴力も含まれる。
3	SDGs (持続可能な開発目標)	持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)は2016年から2030年の15年間で国連加盟国すべてが持続可能な社会を目指す17の国際目標のこと。
4	ワーク・ライフ・バランス (仕事と生活の調和)	「仕事と生活の調和」のこと。一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できることを指す。
5	アンコンシャス・バイアス (無意識の思い込み)	自分自身では気づいていない「無意識の偏ったモノの見方」のこと。例えば、「男性は仕事、女性は家庭」という考え方に同感していなくても、「親が単身赴任中」と聞いて、父親を想像したり、「保育士・看護師の友人」と聞いて、女性を思い浮かべてしまうなど、その人の過去の経験や知識などにより、性差に関し無意識に何気ない発言や行動として現れること。
6	甲府市男女共同参画推進委員会	甲府市が男女共同参画社会の実現に向けて、取組を推進するため設立した市民組織のこと。任期は2年で委員構成は自治会連合会からの推薦、各種団体からの推薦、公募からなる。

グループ活動報告

企画運営Cグループ (出前講座・ぴゅあフェスティバル発表担当)

私たち企画運営Cグループは出前講座とぴゅあフェスティバルでの発表を担当しています。
出前講座用に新たなシナリオ「ジェンダー視点から考える防災」を作成しました。



《リーダー》

矢崎真由美

《サブリーダー》

小林清巳

《メンバー》

赤池まゆみ／遠藤文子／小田切進
上條孝子／田中克枝／塚原國利

*** 「ジェンダー視点から考える防災」について発表 ***

私たちが作成した「ジェンダー視点から考える防災」の出前講座をご依頼いただいた地区で発表しました。



令和7年10月25日（土）12:00～12:15
相川地区自治会いきいきサロンにて
参加者：15名

令和7年11月9日（日）10:00～12:00
玉諸地区自治会連合会
防災フェス×健康まつりにて
参加者：22名（全2回）



令和7年12月14日（日）13:25～13:45
ぴゅあフェスティバル2025にて

シナリオ「ジェンダー視点から考える防災」

甲府市男女共同参画推進委員会
ジェンダー視点から考える
防災
～避難所にジェンダーの視点を～

甲府市男女共同参画推進委員会は令和4年度と令和5年度の第8期において「ジェンダー視点からみた防災」をテーマに活動しました。

私たちが暮らす地域社会には、様々な人が生活しています。災害時に直面する困難は、男性、女性、高齢者、障がいのある方、妊産婦、乳幼児、外国人、性的少数者等、人によってその困難や、必要とするものに違いがあります。ジェンダーの視点は、災害などの緊急時には見落としがちですが、人権を守るために決しておろそかにしてはならない視点です。

※ ジェンダーとは男性・女性という生物学的性差に対し、社会的・文化的につくりあげられた性別のこと

もしもの時・・・あなたは大丈夫？

最近自然災害が世界中で頻発に起きているけど、もしものために何かしている？

非常持ち出し袋は用意してあるよ。

中身は大丈夫？点検しているかな？賞味期間とか使用期間が決まっているから新しい物と交換しないよね。

そうだね。いざと言うときに“役に立たない”では困るからね。

非常持ち出し袋の重さは、女性では10kg、男性では15kgが目安らしいよ。重い避難行動に支障がでるから、目安を基に自分にあった重さで準備するのがいいんだって。

甲府市男女共同参画推進委員会

そもそも防災について、みんなはどこで情報を集めているのかな？

自治会では防災訓練や避難訓練があるし、甲府市でも研修会を開催したり、ホームページから情報が集められるよ。

避難所の運営は、自治会や市、施設管理者が連携して行っているんだけど、避難所にはいろんな人が集まってくるから、様々な配慮が必要になっているんだよね。

避難所の運営は「男性だけ」だと、女性の悩みや困りごとに気づけない可能性もあるよね。もちろん「女性だけ」でも同じことが言えるね。性別のほかにも年齢、国籍、障害の有無など、それぞれの視点で考える事が大切なんだけど、それがなかなか難しいんだよね。

例えば生理用品などは、男性が配っていると受け取りにくかったりするから、女性が担当したほうがいいんだよね。

トイレは人目につきやすいところに設置したほうがいいよ。

え！人目につかないほうがいいんじゃないの？

女性や子どもに対する性暴力防止のためにもトイレは人目につきやすい場所がいいんだよ。

なるほど。

甲府市男女共同参画推進委員会

授乳室もあると良いね。外から見えないように配慮されていれば、安心して使えるよ。

安全で安心して使えるようにすることが大切だね。

他にも、男性用・女性用の更衣室は防犯の為、場所を離して設置する、入浴時間を男女でずらすなど安全への配慮が必要だよ。

物干し場のエリアはどうなのかな？

人の目が気になって下着が干しづらかったりするので男性・女性でエリアを分けることや、盗難等の危険性もあつたりするから、人の配置の工夫も大切になるね。

それに今は、男性・女性というだけでなく、マイノリティの人への配慮も必要となっているからね。

避難所の炊き出しなど、役割を性別のみで判断するのは、負担が特定の人に偏ってしまう危険性があるよね。みんなで話し合って役割分担を決めて行くことが大切ってことだね。

そうだね、できることは人それぞれだもんねところで、甲府市のハザードマップって見たことある？



甲府市男女共同参画推進委員会

これは洪水ハザードマップだね。ハザードマップはこのほかにも、土砂災害や地震ハザードマップもあるよ。洪水ハザードマップのほかにも、電柱に想定される浸水深表示がしてあるよ。見たことあるかな？



あるよ。水害避難の時は、長靴だと脱げたり、水が入ると歩きにくいので、スニーカーなどが良いとされているよ。

災害については、『自助』70%、『共助』20%、『公助』10%といわれていて、大きな災害ほど、『自助』『共助』が重要なんだよね。

自助は自分の力で自分自身と家族の命を守ることで、共助は近所の人と互いに助け合って命や地域を守ること、公助は市役所や警察、消防、自衛隊などによる支援・復旧対策だよ。

そういえば、私は先日、甲府市の防災リーダー研修を受講して、防災リーダーになったんだよ。甲府市には「女性のための防災リーダー研修」もあるんだって。皆さんもぜひ防災リーダーになってジェンダー視点で防災を考えてみよう。

お問い合わせ先
甲府市男女共同参画推進委員会
【事務局】甲府市人権男女参画課内 055-237-5209

グループ活動報告

広報・編集グループ (広報こうふ記事・ふえあねす・第9期活動報告書担当)

私たち広報・編集グループは、甲府市内全戸配布の「広報こうふ」の偶数月に男女共同参画の意識啓発のため記事原稿をメンバー持ち回りで作成し、年度末発行のニューズレター「ふえあねす」や令和6・7年度甲府市男女共同参画推進委員会活動報告書の作成に携わりしました。



《リーダー》

中村京子

《サブリーダー》

天野光江

《メンバー》

飯田裕次／鈴木紀夫／内藤洋子
藤原静　／矢島良夫

*** 「広報こうふ」 「掲載記事の紹介」 ***

2024年10月号

毎年11月12~25日は「女性に対する暴力をなくす運動」期間です。暴力には殴る・蹴る以外にも、暴言・無視など心を傷つけることや、行動を制限したり、経済的に追い詰めたりすることなど、表面化しにくいものも含まれます。また暴力の被害者は「自分が悪い」と思い込まされるケースも多く、誰にも相談できずに我慢してしまうこともあります。もし身近な誰かが被害に遭っていたら、話を聴き、「あなたは悪くない」と伝えて、女性総合相談室(☎223-1255)を紹介してみてください。

2025年8月号

今月は防災の視点で男女共同参画を考えてみましょう。災害時は子どもや高齢者、障がいのある方や男女のニーズの違いなどへの配慮のため、その対応には、男性だけでなく女性の声も反映される必要があると思います。要配慮者を含めた方々に対し、災害から受ける影響の違いに気づき、きめ細やかな対応ができるよう、災害から一人一人を守る第一歩として、普段から意思決定の場へ女性の参画を促すなど、女性の視点を踏まえた防災・減災を進めていきたいですね。

ふえあねす vol.16

ふえあねす vol.17

「男女共同参画社会」ってなに？
「ふえあねす」ってなに？

甲府市男女共同参画推進委員会 News letter vol.16

ふえあねす
ふえあねす = Femmes 25歳以上、女性学生を応援します

甲府市男女共同参画推進委員会 News letter vol.17

甲府市男女共同参画フォーラム2025

「性別平等意識の醸成」
「新30周年記念大会」
「甲府市男女共同参画推進委員会」
「男女共同参画推進フォーラム」

甲府市男女共同参画推進委員会 活動報告書

「性別平等意識の醸成」
「新30周年記念大会」
「甲府市男女共同参画推進委員会」
「男女共同参画推進フォーラム」



甲府市ホームページから「ふえあねす」をご覧いただけます

<https://www.city.kofu.yamanashi.jp/danjo/event/6kihoukokusho.html#feanesu>

令和6・7年度
活動報告書
第9期

gender

equity

甲府市男女共同参画推進委員会

結びに

男女共同参画に関する事項について、昨今の現状も含め、理解を深めるために、月に一度の定例会をはじめ、学習会・各種自主事業を行いました。ほかにも日本女性会議への参加、甲府大好きまつりへの出展・国立女性教育会館（NWEC）男女共同参画推進フォーラムへの参加、ぴゅあフェスティバルでの発表等、様々なことに積極的に参加しました。自主事業や参加事業を通して、私たちが行っている推進活動の大切さを感じるとともに、より多くの市民の方々へ啓発するため継続して活動を行っていきたく感じました。

第9期甲府市男女共同参画推進委員会名簿

(五十音順・敬称略)

No.	氏名	所属団体等	No.	氏名	所属団体等
1	赤池 まゆみ	穴切自治連	17	鈴木 紀夫	公募
2	天野 光江	玉諸自治連	18	田中 克枝	中道自治連
3	飯田 裕次	山城自治連	19	塚原 國利	新田自治連
4	井尻 真理子	新紺屋自治連	20	土橋 真太郎	上九一色自治連
5	江里口 智美	相生自治連	21	内藤 貴夫	池田自治連
6	遠藤 文子	大国自治連	22	内藤 洋子	国母自治連
7	小澤 房子	商工会議所	23	中村 京子	朝日自治連
8	小田 切進	東自治連	24	平井 三十鈴	相川自治連
9	鎌田 満	琢美自治連	25	深澤 奈美	石田自治連
10	上條 孝子	羽黒自治連	26	藤原 静	富士川自治連
11	菊嶋 慶彦	湯田自治連	27	古屋 美代	貢川自治連
12	久保寺 寿和子	千代田自治連	28	森 みどり	甲運自治連
13	小林 清巳	住吉自治連	29	矢崎 真由美	商工会議所
14	小林 茂	大里自治連	30	矢島 良夫	公募
15	酒井 大介	公募	31	山田 千恵美	春日自治連
16	清水 正	北新自治連			

甲府市男女共同参画推進委員会の活動は甲府市ホームページ
女性活躍支援サイト「**甲府なでしこPlus**」に掲載しています。

<https://www.city.kofu.yamanashi.jp/nadeshiko-plus/index.html>

【ホーム>女性活躍>女性団体の紹介>甲府市男女共同参画推進委員会の活動】



表紙デザイン

♡ gender equity(ジェンダー エクイティ)=男女公正

男女が同等に扱われる (gender equality=男女平等) のではなく
状況や性差に応じて公平に機会が与えられること

第9期 甲府市男女共同参画推進委員会

活動報告書

令和8年3月発行

編集・発行 甲府市男女共同参画推進委員会
事務局 甲府市市民部人権男女参画課内
甲府市丸の内一丁目18-1
《TEL 055-237-5209》